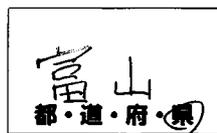
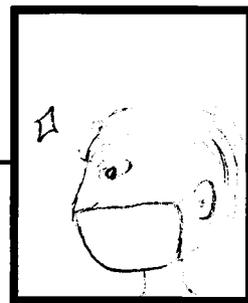


2018
年度

高校合格体験記



国・都・道・府
市・私

立 砺波 高校合格

推薦入試 (前期入試) ・ 一般入試 (後期入試)

H.M

先輩 (男・女)

高校入試対策について

1. 志望校の決定は 小学・中学 3年 8月ごろ

2. 受験勉強を始めた時期は中学 3年 12月ごろ

県内でも有数の進学校であり、部活もそこそこ強く、家から近かったから、また、進学したい大学にこの高校が合っていたから。

学校でもらったプリントを1月までに見返し、2、3月は過去問をしたり教科書や参考書をサラッと見返したりした。

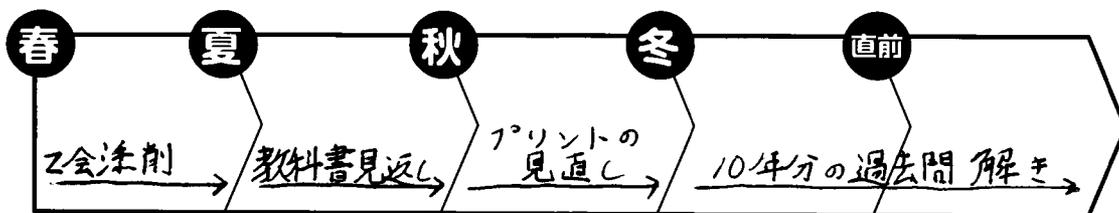
3. 入試直前期の学習・生活について

入試本番一週間からは勉強をほとんどに行い、睡眠時間を大切にしました。また、リラックスとリスニングもかねて洋楽をたくさん聴くようにしました。

4. 入試当日について

できることは全てやっていたので緊張はしなかった。手が冷えると動きが悪くなるのでカイロを持つようにした。テスト中は無心で解き、時間に気を付け、見直しを最後まで行った。

5. 1年間の学習の流れ



普段の学習について

1. 学校の予習・復習などについて

朝、開門と同時に学校に入り、クラスの仕事がない時など、時間を見つけて復習を行った。学期が始まる前に2会から配られた資料に目を通し、ノートにまとめた。

2. 定期テスト対策について

教科書、ノート、ワークを見返し、範囲を自分でまとめる「My note」をつかった。また、2会の透削を解いたりして、応用問題の対策をした。

3. 両立について

部活 (ソフトテニス 部) 習い事を ()

休日のほとんどが練習や試合だったので、平日の夜に勉強を集中して行った。部活動は最後の試合が終わって引退してから、リラックスのために何度か行った。

4. Z会以外の利用について

Z会のみ・塾・家庭教師・ほかの通信教育・その他

中学の学習内容は独学のみでもできた。独学やZ会は自分の好きな時間にできるので選んだ。独学では分からない全国の過去問も、透削問題ではできたので役立った。

苦手・得意について

1. 苦手について

苦手科目 (理科) 分野 (物理)

克服法: ワークを本誌とノート以外にも自分でまとめたり、参考書を買って何度も繰り返して取り組んだ。あとは今までのテストを見直して解き直した。

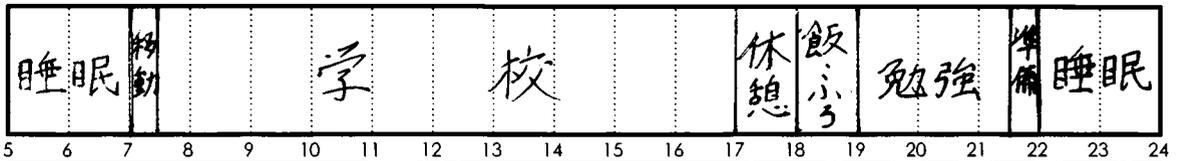
2. 得意について

得意科目 (国語・社会) 分野 (現代文・歴史)

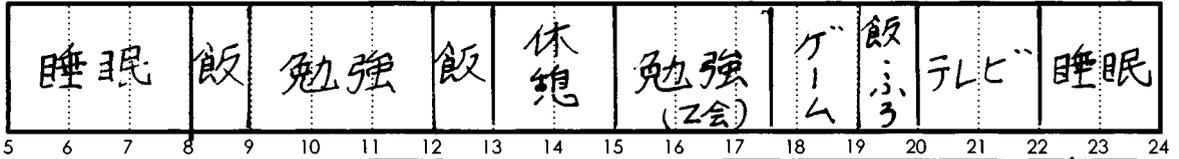
得意の伸ばし方: 授業前に予習したり、過去問の傾向を分析したりした。また、教科書以外に自分で本を買って読んだ。

1日のスケジュールについて

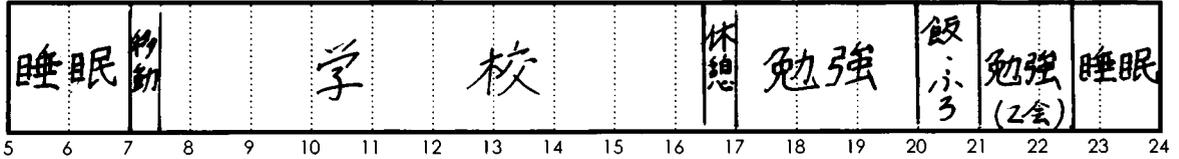
1. 学校が通常通りある時期の平日のスケジュール



2. 学校が通常通りある時期の休日のスケジュール



3. 受験直前期の平日のスケジュール



受験を終えて

1. 受験を終えての気持ち

合格がわかったときは高校でのこれからの生活への抱負を考えた。高校からは予習していかないといけないので、過去を振り返らずに未来、これからのことを考えた。

2. 後輩へのメッセージ

受験当日の自信の大きさはそれまでに取り組んだ勉強量に比例する。悔いが残らないように1日1日を大切に生きよう!